

研究課題名	本邦における子宮体癌に対する低侵襲手術（MIS）の実態調査
研究の意義・目的	本研究は東海大学が中心となって行う研究です。近年、子宮体癌に対する腹腔鏡手術やロボット支援下手術といった体に負担の少ない手術が増加してきています。これらの手術の有効性と安全性は臨床試験等で十分に確認されていますが、実際の臨床においての実態はまだ完全には明らかになっていません。これまでに治療を受けられた方の治療成績等を振り返って解析することで、本邦における治療の実態を把握することが目的です。
研究を行う期間	研究機関の長の許可日 ～ 2023年3月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2015年1月～2017年12月に大阪市立大学医学部附属病院の婦人科で、子宮体癌に対して腹腔鏡手術を受けられた方が対象です。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、CT画像、MRI画像、手術方法】
試料・情報の他機関への提供	この研究は東海大学産婦人科へ頂いた情報を提供します。その際は、特定の個人を識別できない形で提供します。
この研究を行っている共同研究機関	代表研究機関：東海大学医学部専門診療学系産婦人科学 研究責任者：吉田浩
試料・情報を管理する責任者	東海大学医学部専門診療学系産婦人科学・吉田浩
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科 女性病態医学 (担当者氏名) 福田 武史 電話番号：06-6608-7899 メールアドレス：tfukuda@omu.ac.jp